

NUTEC & GT-R Magazine
共同開発

[伴侶]の実力を試す

NUTECとGT-R Magazineが共同で開発した、RB26DETT専用のエンジンオイルがついに完成。
編集部所有の2台のスタッフカーに投入し、素晴らしい効果を実際に体感することができた。
今号では、疲労の蓄積したGT-Rで「伴侶」をテスト。効果がしっかり体感できるのか検証してみた。

文:原田貴俊(本誌) 写真:田村 弥
☎:ニューテック ☎045・628・2055 nutec.jp



動きだした瞬間から違う！
もっと早く出会いたかった

本誌090号にて、ついに発売を開始したGT-R専用オイル「伴侶」。発売開始から注文が相次ぎ、問い合わせも多数寄せられている。しかし同時に、本当に効果があるのだろうか？ オーバーホールを施したGT-Rガ号に投入しているから良いと感じているだけなのではないか？ との疑問の声も寄せられている。

確かに、編集部所有のR32Vスベ号やR34ニエル号はオーバーホールが施され、エンジンの調子は絶好調である。良いエンジンに良いオイルを入れれば、当然いい結果が出るんじゃないか？ という声にも一理ある。そこで、今回はエンジンに何も手を加えていないGT-Rに伴侶を投入する。ついにその実力が試される時がやって来たのだ。

用意したのは12万kmを走破したBCNR33だ。これまで定期的なオイル交換は施してきたものの、オーバーホールなどは一度も行っていない。果たして、この仕様でも違いを感じ取ることは可能か？

交換作業を終え、期待と不安が入り交じりながらエンジンを始動させる。アイドリング状態ではとくに違いを感じ取ることはできなかった。

しかし、クルマが動きだしてみると妙な違和感を覚えたのだ。

「エンジンが軽い……」

クラッチをつなぎ、アクセルペダルに足を載せた瞬間から、エンジンの吹き上がりがスムーズなのだ。しかし、交換したばかりだから、良いと感じているだけだと思う方もいるだろう。ちなみに、テスト車両は伴侶交換前、新品オイルへ交換してから2000kmも走破していないのだ。

